

相談しやすいまちづくりに向けて！

～周知の取り組みと支援ネットワークづくり～

平成25年11月29日(金)連絡会議

幸区地域自立支援協議会

発表者

●地域相談支援センターりぼん

熊澤 真美

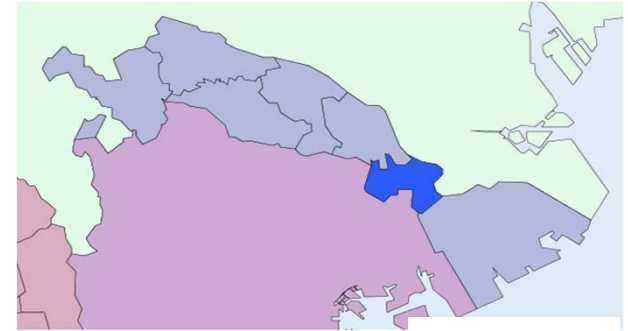
●さいわい基幹相談支援センター

野村 鼓





幸区の特徴



面積: 10.09km²

人口: 156,963人

障害者手帳取得者: 平成25年9月末現在

身体障害者手帳; 4842人

療育手帳; 948人

精神保健福祉手帳; 1017人(自立支援医療(精神通院)受給者; 1918人)

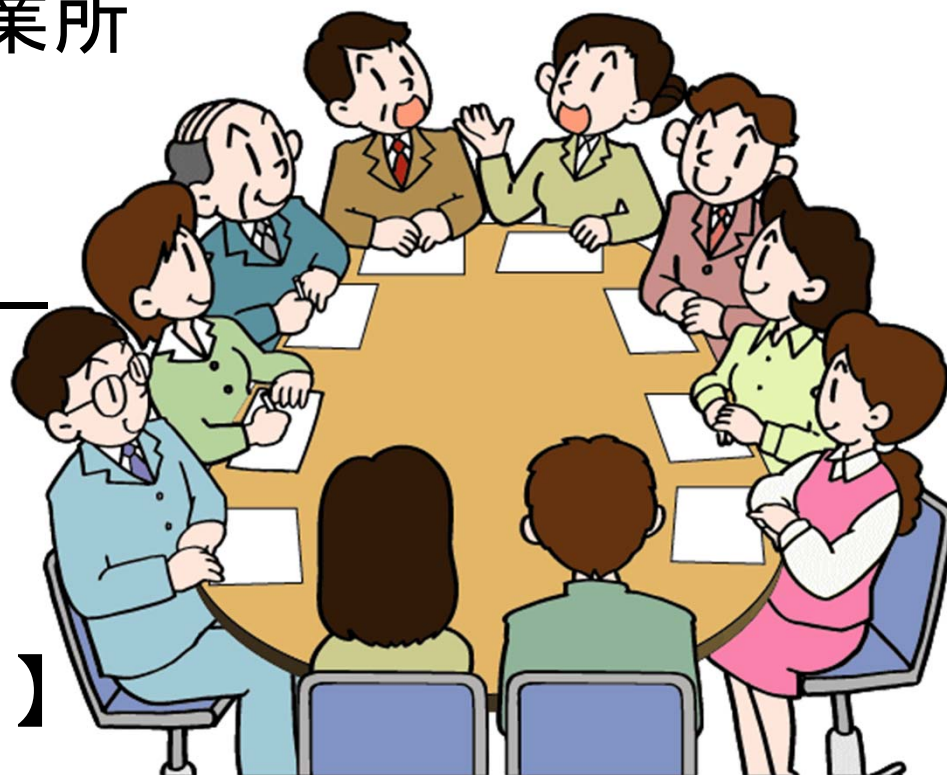
特色:

- ・川崎市内で最も人口の少ない区(人口と世帯数は増加)。
- ・人口密度は、中原区に次いで、2番目に高い。
- ・単身世帯が増加している。
- ・35～39歳の人口が最も多く、若い世代が多い。
- ・町内会・自治会の世帯加入率は73.5%。川崎市内で一番に高い。
※第2位 中原区70.8%

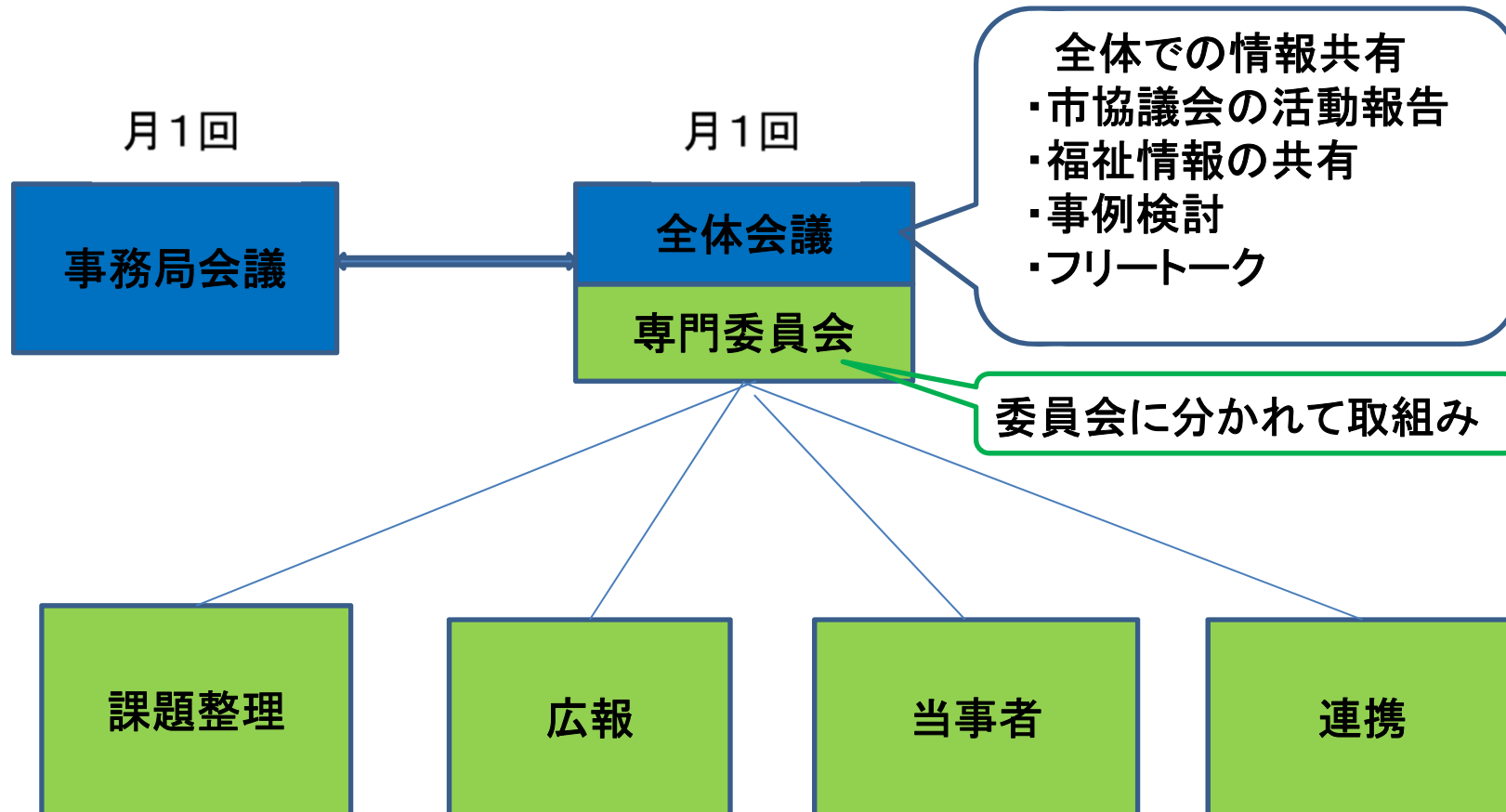
協議会の構成員

- 当事者
- 障害者福祉施設・事業所
- 養護学校
- 更生相談所
- 精神保健福祉センター
- 地域療育センター
- 保健福祉センター
- 相談支援センター

【合計29名】



H25年度の活動体制



今年度は周知の取り組みがメイン？





課題整理委員会

- ①昨年度実施した、「成人期のナイトケア」アンケートの回答を集計しました。
その結果、現在利用している通所先で、延長サービスとして、ナイトケアを利用したい、という要望が多く寄せられ、市協議会の専門部会（課題整理ワーキンググループ）に課題として挙げました。
- ②全体会議で、小グループに分かれた「フリートーク」の時間を設け、そこで話題に出た、支援上の課題などを、とりまとめて整理し、解決方法を検討しています。



広報委員会

相談支援の再編と、協議会の周知を目的に、地域市民向けの広報紙「わいわいさいわい」を作成しています。(町内会回覧や事業所などに配布予定)



名称	所在地	電話	ファックス
①さいわい基幹相談支援センター	古市場2-91	589-5183	589-5184
②地域相談支援センターラルゴ	南加瀬2-28-28 萬家ビル102	589-5472	589-5473
③地域相談支援センターりぼん	北加瀬1-31-5 サポートさいわい2階	580-3080	580-6267
④地域相談支援センターあんさんぶる	小川西町4-61-101	223-8290	223-8432
⑤御幸日中活動センター	紺屋町33-1	542-6711	522-2250
⑥幸区障害者支援係	戸手本町1-11-1	556-8654	555-1336

名称	所在地	電話	ファックス
幸区以外のメンバー			
南部地域療育センター	川崎区日進町5-1	211-3181	230-1945
南部地域療育センター準備室	川崎区日進町5-1	589-5612	589-5613
田島養護学校	川崎区池上新町1-1-3	299-2861	299-2874
川崎市精神保健福祉センター	川崎区宮本町2-32 JAセレスみずみビル4階	200-3195*3196	200-3974
中原養護学校	中原区井田3-13-1	755-1632	752-7786
川崎ふれあいの会	中原区上平間1340-12	549-0356	549-0356
川崎市障害者更生相談所	高津区二子6-14-10 YTTビル2階	知的 811-0003 身体 811-0091	811-0161
わいんぼう川崎在宅支援室	宮前区東有馬5-8-10	888-8601	888-8849
鶴見養護学校	横浜市鶴見区駒岡4-40-1	045-573-4737	045-584-8502

わいわいさいわい



御幸日中活動センター
戸叶 新之介氏 撮影

幸区自立支援協議会

平成25年11月発行

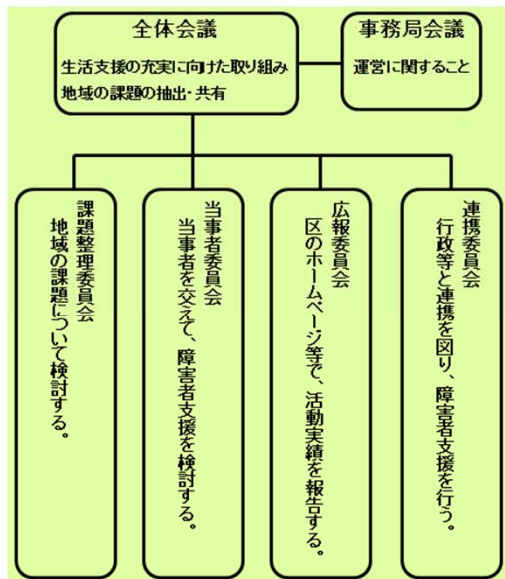


「わいわいさいわい」パンフレット 広報委員会

自立支援協議会とは

「幸区地域自立支援協議会」は、障害をお持ちの方が暮らしやすい地域づくりを目指して、地域の様々な立場の人が集まって話し合う会議のことです。

組織図



今後の各委員会活動内容

○課題整理委員会

福祉サービスにおける様々な課題についてニーズを把握したり、必要に応じて市へ提言するための準備をしています。課題をより把握するため、メンバーのフリートーク会を実施し、どんな小さな課題でも、皆で情報を共有して日々の支援に活かす努力をしています。

○当事者委員会

当事者の方が抱えている生活のしづらさ、想いを声に出してもらい、住みやすい地域づくりに向け当事者中心の委員会を目指しています。今年度は当事者の方が協議会に参加して2年目であり、PR、身近な相談場所としての相談支援センターを紹介するため区内施設に直接出向き、自身の体験を交えた生の声を伝えていく予定です。

○連携委員会

利用者に必要な情報やサービスが得られるよう、地域の体制作りを目指します。今年度は、養護学校の地域連携の担当者と連携し、保護者を対象に協議会や支援機関の紹介等を行います。また、高齢者の相談窓口の地域包括支援センターとの意見交換会も企画します。

○広報委員会

今年度は協議会のパンフレットを作成し、地域の皆様への広報活動を行います。



基幹相談支援センターと、
地域相談支援センターって
何??



H25年4月から川崎市の障害者相談支援センターを改編し、相談支援専門員の増員と、各区の生活支援センターの数を統一しました。これにより、障害をお持ちの方の相談・助言・情報提供等が、生活している地域で対応できるようになりました。

幸区では、下記の相談支援センターが開設しました。

- ①さいわい基幹相談支援センター
- ②地域相談支援センターラルゴ
- ③地域相談支援センターリぼん
- ④地域相談支援センターあんさんぶる

*住所・連絡先は裏ページです。



当事者委員会

当事者の方が協議会に参加して、4年目になりました。

これまでの経緯

22年度

○幸区内の事業所案内「さいわいジャンプ！！」

23年度

○ニーズ調査

24年度

○アンケートをもとに、幸区のおススメ スポットを紹介
「さいわいウォーカー」



当事者委員会

今年度の活動内容

各施設へ訪問

- 当事者の方が体験談を発表
- 幸区の相談支援センターを紹介したパンフレット「これ知っとう！さいわい」の配布

「これ知っとう！さいわい」パンフレット 当事者委員会

さいわい基幹相談支援センター

さいわい基幹相談支援センター
 幸区古市場2-91 プレティ川崎1階
 電話：589-5183 FAX：589-5184
 E-mail saiwai-kkansoudan@kf1.or.jp
 利用日 月曜日～金曜日（休み：土・日曜日・祝祭日・年末・年始）
 時間 午前8時30分～午後5時00分

地域相談支援センターあんさんぽる

地域相談支援センターあんさんぽる
 幸区小向西町4-61-101
 電話：223-8290 FAX：223-8432
 利用日 月曜日～金曜日、第2、4土曜日
 （休み：第1、3土曜日・日曜日・祝祭日・年末・年始）
 時間 午前9時00分～午後5時30分（土曜日は5時まで）

誰もがセンターって
 何をしてくれる所なの？

障害をもつご本人やご家族、関係される方々からのご相談を
 お受けしています。例えば、こんなことをしました。

- ・サービスを利用するための手続きをお手伝いしました。
 （区役所へ一緒に行く・書類を一緒に作成する）
- ・これからも継続して相談を受けてほしいとのご希望があり、毎月面談をしました。
- ・施設やヘルパー事務所などの紹介や連絡調整、施設見学などを一緒に行いました。

このほかにもいろいろなご相談をお受けしています。困ったこと、不安なことなどありましたら、お気軽にご連絡下さい。

ご相談お待ちしております
 さいわい

作表・編集 幸区地域自立支援協議会当事者委員会 平成25年11月発行

これ知っとう！ さいわい

幸区版

しょうがいしゃさうだんしえん
障害者相談支援センター

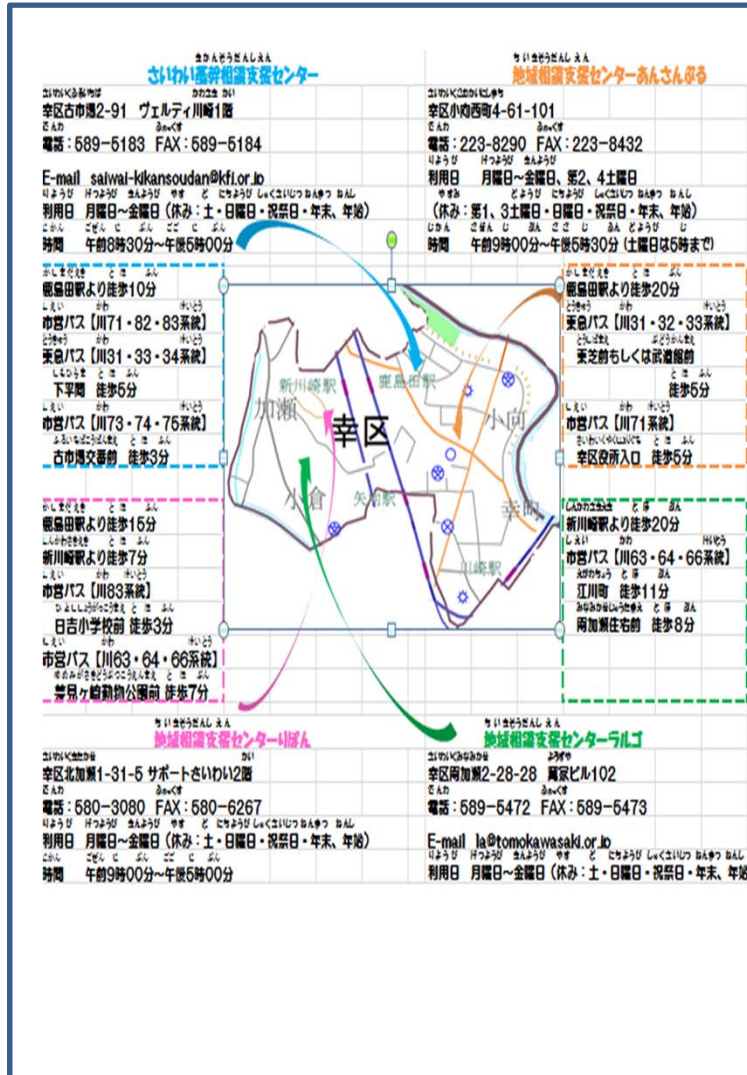
りようあんない
ご利用案内パンフレット

しょうがいしゃのりんどう
 障害のある方の身近な相談窓口のご紹介です。

すみずみ
 住み慣れた地域で、安心して暮らしていけるよう

あなた
 にあなたの心配な事やこれからの事を一緒に考えます。

相談支援事業として、川崎市から委託を受けた法人が運営しています





当事者委員会の 今年度の動き

- 6/24(月) 顔合わせ、自己紹介、昨年度の振り返りと今年度の活動について
- 7/29(月) 今年度の活動内容決定、年間スケジュールの確認
- 8/26(月) 相談支援センターを紹介する内容や方法、場所、担当を決定
- 9月中 各自：当事者の体験談を盛り込んだ、各施設での発表用の台本作り
- 10/28(月) パンフレット最終確認、台本読み合わせと発表の練習
- 11/21(木) 「御幸日中活動センター」で発表 パンフ配布
- 12/6(金) 「田島養護学校 PTA家庭学級」で発表 パンフ配布
- 1/20(月) 11月、12月の発表の振り返り、1月、2月の発表の確認と練習
- 1月2月中 幸区内にある通所施設2か所へ訪問
- 3月 全体で集まり、まとめと来年度にむけて話し合い



連携委員会

- ①田島養護学校のPTA家庭学級に出向き、協議会や、相談支援センターの紹介をしています。（昨年度からの取り組みです）

目的

保護者に、卒後の生活のイメージをつかんでもらい、相談できる先が、地域にある事を知ってもらう

内容

協議会の紹介
相談支援センターの説明
事例紹介
当事者の生活報告



連携委員会

- ②地域包括支援センターとの意見交換会を企画し、事例を通して、高齢・障害の支援の連携について、話をしています。
- ③昨年度に実施した、民生委員アンケートの集計結果に基づいて、今後の連携方法について検討中です。

目的

他分野・他機関と
横のつながりを持ち
支援の谷間を作
らない

内容

互いの機能や
仕組みを知って
具体的な連携方
法を検討できる
構成にする

相談しやすいまちづくり

